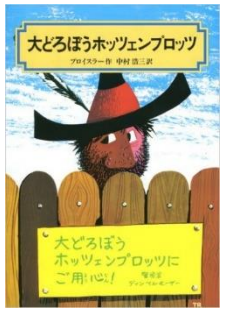


「大どろぼうホッツェンプロッツ」

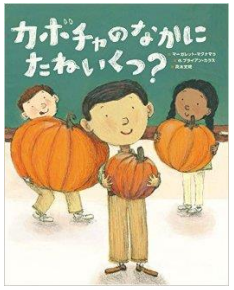
プロイスラー／作
トリップ／絵
中村 浩三／訳
偕成社

おばあさんのだいじなコーヒーひきが、大どろぼうホッツェンプロッツにぬすまれた！二人の少年カスパールとゼッペルは、コーヒーひきをとりもどすため、どろぼうをつかまえようとしますが悪の魔法使いまででてきて…。さぁ、冒険(ぼうけん)のはじまりです！

「あかちゃんてね」

星川　ひろ子／著
星川　治雄／著
小学館

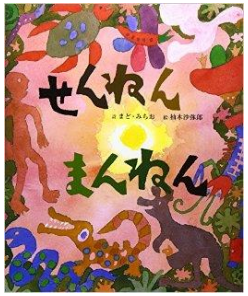
赤ちゃんの１年間の成長を、月ごとに見ていく写真絵本です。生まれて１時間、顔をまっ赤にして泣く赤ちゃん。１週間後、まだへそのおがついてる！３ヶ月後、おててしゃぶったよ。みんなが生まれたときはどんな赤ちゃんだったのかな？



「カボチャのなかにたねいくつ？」

ﾏｰｶﾞﾚｯﾄ･ﾏｸ ﾅﾏﾗ／作
G.ﾌﾞﾗｲｱﾝ･ｶﾗｽ／絵
真木文絵／訳
ﾌﾚｰﾍﾞﾙ館

ティフィン先生が持ってきた三つのカボチャは、色もかたちも違(ちが)います。みんなはカボチャからたねを取り出し、どのカボチャに一番たねが入っているか調べることにしました。カボチャのたねを数えるうちに、チャーリーはある発見をするのですが…。



「せんねんまんねん」

まど　みちお／作
柚木 沙弥郎／編
理論社

いつかのっぽのヤシの木になるために、じべたにおちるヤシの実。そのじひびきで、ミミズがとびだす。そのミミズを、ヘビがのんで…。すべてのものは、支えあってつながって続いている。ながいみじかい、せんねんまんねん。

３４年生　うちどくリスト

このほんよかよ

うちどくは　おうちで　かぞくと
本をよむこと。すきな本をみつけて
かぞくにおしえよう！

保護者の方へ

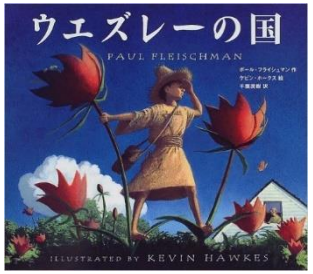
家読とは、読書を通して家族とふれあいのひと時を持つための取り組みです。同じ本をみんなで読んでみたり、おすすめ本を教えあったり、自由な形で　家庭読書を始めてみませんか?

編集・発行：久留米市立中央図書館
TEL 0942-38-7116　FAX 0942-38-7183

「おおきなきがほしい」

佐藤　さとる／ぶん,
村上　勉／え
偕成社

ある日まどから外を見ていたかおるは、おおきな木がほしいなと思います。かおるの考えるおおきな木には、ほらあながあって、ホットケーキを焼いたりする小屋とみはらし台まであります。みなさんはおおきな木があったら、どうやって遊びますか？



「ウエズレーの国」

ポール・フライシュマン/作
ケビン・ホークス/絵
千葉茂樹/訳
あすなろ書房

ウエズレーは、町のほかの子とはまったくちがった男の子。夏休みの宿題に、すごい自由研究を思いついた。自分だけの作物を育てて、自分だけの文明を作るんだ！庭に自分の国を作りいきいきと夏休みをすごすウエズレーに元気がもらえる絵本です。

「いろはのあした」

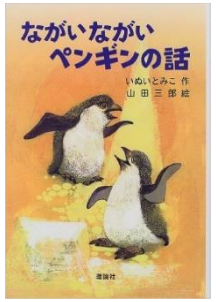
魚住　直子／作
北見　葉胡／絵
あかね書房

“いろは”は、小学３年生のちょっと気が強い女の子。弟に、おっとりした小学１年生の“にほ”がいます。いろはの毎日は、弟とけんかしたり、友だちに見栄をはってしまったり、悩んだり。その中でちょっとずつ成長していく女の子のおはなしです。

「パンダのポンポン」

野中　柊／作
長崎　訓子／絵
理論社

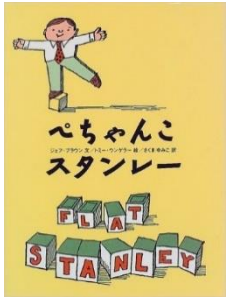
パンダのポンポンは食いしん坊。街で一番人気のレストランで働くコックさんなので、料理がとても上手です。サンドイッチにオムライス、ふわふわケーキ、なんだって作れちゃいます。仲良しの猫のチビコちゃんとポンポンのおいしい毎日のお話です。



「ながいながいペンギンの話」

いぬい　とみこ　/著
山田　三郎/絵
理論社

南極で生まれた赤ちゃんペンギンのルルとキキ。２ひきは氷の上ですべりっこしたり、泳ぎの練習をしたり、元気いっぱい。でも、時にはあぶないてきにおそわれることも。ちゃんと逃げきれるでしょうか。２ひきと共に南極をぼうけんしてみませんか?



「ぺちゃんこスタンレー」

ジェフ・ブラウン/文
トミー・ウンゲラー/絵
さくまゆみこ/訳
あすなろ書房

朝おきたら、ぺちゃんこになっていたスタンレー。でも、ぺちゃんこだからこそできる楽しいことがいっぱいです。エアメールで旅行したり、どろぼうをつかまえたりと大かつやく！でもやっぱり、元の体に、もどりたいな・・。さあ、どうなる？